

国際交流・多文化共生の 事業を支える ～ボランティア活動紹介～

川崎市には43,969人^(※1)もの外国人市民が住んでいることをご存知ですか? 2020年には東京オリンピック・パラリンピックの開催も決定しており、今後もますます外国人市民・訪問客が増えていくと予想されます。

(公財)川崎市国際交流協会では、市民レベルでの交流を通して、様々な国籍や多様な文化背景を持つ人々が安心して暮らせる地域づくりを目指し、現在1,248人^(※2)の登録ボランティアが様々な分野で活動しています。多様性のある社会を実現するために、ボランティアの活動内容も多様化しています。

※1 2019年6月末日現在(川崎市統計情報「管区別年齢別外国人住民人口」) ※2 2019年3月末日現在(重複を含む)

通訳・翻訳ボランティア

公的機関から通訳または翻訳の依頼があったときに協力をしています。英語や中国語、ポルトガル語をはじめ、ベトナム語、タイ語、インドネシア語、ネパール語など計26言語のボランティアが登録しています。

登録条件:川崎市内又は近郊にお住まいで、仕事などで通訳・翻訳の経験のある方。

ホームステイボランティア



ホームステイ対面式の様子

川崎市と姉妹友好都市の交流プログラム、省庁外郭団体のプログラム及び大学等からの依頼で、海外から来日する留学生、社会人を受け入れ、家族全員で交流します。

登録条件:原則として川崎市内在住(受入れ可能と判断できれば近隣都市の家庭も登録可)で、一部屋提供でき、食事や生活を共にし、家族皆で受け入れていただける家庭。登録時にファミリースナップが必要です。

ホームビジットボランティア

一般家庭への一日訪問を、市内および近隣の学校の留学生に提供しています(宿泊はありません)。年に1回、当協会が学校を通して川崎市近隣の留学生とホストファミリーをマッチングします。実際の訪問日時は、説明会・対面式で受け入れ家庭と留学生が直接会って調整します。

登録条件:交流やふれあいを大切に考えていただける家庭。登録時にファミリースナップが必要です。

日本語講座ボランティア



日本語講座の様子

日本語を学びたい外国の方に日本語学習の機会を提供します。協会が実施している日本語講座のボランティアとして、週1回、午前コースか夜間コースのどちらかで活動していただけます。

登録条件:下記項目のいずれかの該当者及び当協会が毎年下半期(10月～3月)に行う事前研修の修了者。日本語講座行事等にも企画から積極的に参加

できる方。

- 420時間の日本語教師養成講座を修了された方、または受講中の方。
- 特定の教科書を使って日本語を教えた経験が3年以上ある方。

国際理解教育支援ボランティア1



国際理解教育支援の様子

小学校、中学校における総合的な学習の時間等を活用して国際理解教育支援を行います。自らの知識や経験を活かして、母国の歴史、文化、習慣、風俗などを児童生徒に紹介する活動です。

登録条件:海外の国や地域の出身で、母国の文化等のプレゼンテーションができる方。

国際理解教育支援ボランティア2

小学校等からの依頼があったときに、英語教育活動の支援を行います。

登録条件:子どもに英語を教えている方、教えた経験のある方。英語を教えるための研修を受けたことのある海外の国や地域の出身の方。

一般ボランティア

国際交流に係る様々な活動に協力していただきます。当協会最大のイベントであるインターナショナルフェスティバルのほか、国際理解講座、夏休み子ども語学教室などのスタッフとして協力をお願いしています。

登録条件:川崎市内又は近郊にお住まいの方で、国際交流に興味・関心のある方。

保育ボランティア



保育ボランティアの様子

川崎市国際交流協会・センター主催行事や講座参加者の子どもを別室で預かる活動です。

登録条件:保育士資格あるいは保育ボランティア養成講座を修了した方、または保育経験(他者の子を預かった経験)のある方。

編集ボランティア

季刊誌「SIGNAL」の編集作業に関わる活動です。編集作業の内容は、記事内容の提案、調査、取材、インタビュー、写真撮影、記事作成、編集会議、編集作業、配送・発送作業補助などです。(※レイアウト、デザインは編集作業に入りません。)

登録条件:ワード、インターネット、PDFファイルなどを使用して、自宅(個人所有のPC)で通信、検索、原稿・資料作成等が可能の方。川崎市内、近郊の取材に行ける方。

やさしい日本語ボランティア

やさしい日本語とは、阪神淡路大震災の後に、日本語に不慣れな外国の方への支援として考え出された、外国の方にとってわかりやすい日本語のことです。災害時や緊急時だけでなく、普段の生活の中でも外国人との会話に役立ちます。当協会が発行する情報誌「ハローかわさき」のやさしい日本語版の作成等をお願いしています。

登録条件:協会が実施するやさしい日本語ボランティア研修会の参加者。

災害ボランティア

川崎市あるいは県内近隣の災害発生時に自宅が被災しなかった場合、外国人市民や外国人観光客に向けて自宅や協会などで支援をします。必要な情報の通訳・翻訳をはじめとした、災害時多言語支援センターの活動に協力します。

登録条件:協会のいずれかのボランティア登録者、または災害ボランティアの研修や訓練に参加できる方。

学習支援ボランティア

小学校高学年から中学生の外国につながる子どもたちを対象に、宿題支援を行います。土日に開催しており、基本的に子ども1人に対して、ボランティアが1～2人付きます。子どもと一緒に宿題に取り組み理解を深めながら、子どもの心に寄り添い、日本での学校生活や高校受験を応援します。

登録条件:協会が実施する研修に参加できる方。子どもの心に寄り添い、継続的に活動できる方。



学習支援の様子

寺子屋教室ボランティア

外国につながる小学生を対象に、学習支援を行います。川崎市教育委員会の「地域の寺子屋事業」の一環で、土曜日に開催しています。特に資格や経験は問いません。継続して支援に参加できる方を募集します。

登録条件:協会が実施する寺子屋先生養成講座の受講者。

生活にほんごサロンボランティア

外国の方や帰国者が生活する上で必要になる実用的な日本語を学ぶ支援を行います。サポーターと学習者が1対1でペアとなって進めます。土曜日または日曜日のいずれかで時間は個別に調整します。

登録条件:協会が実施する研修の参加者で、外国の方の生活日本語習得を支援したい方。日本語教育の経験があればなおよい。

登録ボランティア総数

1,248個人・家庭

(重複を含む。2019年3月31日現在)

- ボランティア(内訳)
- 通訳・翻訳……………373名(26言語)
- ホームステイ……………192家庭
- ホームビジット……………114家庭
- 日本語講座……………93名
- 国際理解教育支援……………76名
- 一般……………331名
- 保育……………35名
- 編集……………15名
- やさしい日本語……………19名
- 上記の内、災害ボランティアへの協力者……………316名

その他活動中のボランティア総数

- 学習支援……………29名
- 寺子屋教室……………12名
- 生活にほんごサロン……………11名

ボランティア登録を希望する方は、電話、FAX、メールでご連絡いただいたのち、ご来館いただき、インタビュー等をさせていただきます。ご来館の際は、事前に日時をご予約のうえ、証明写真またはスナップ写真をお持ちください。(受付時間:月～土 10:00～16:00)